

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院・寒川ごとう眼科では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ビデオオーバーレイによる ASM 作動シチュエーションの検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2022年1月1日から2024年10月31日に寒川ごとう眼科で白内障手術を行った患者さん
2. 研究目的・方法 研究目的 白内障手術時の圧変化（サージ）は、後囊挙上による術中合併症である後囊破囊の原因となる場合があります。寒川ごとう眼科で白内障手術を行った患者さんを対象とし、術中の圧変化（サージ）を軽減させる ASM 機能（Active Surge Mitigation）および手術画像（ビデオオーバーレイ）を用いて、ASM 作動のシチュエーションを検討します。 研究方法 診療録情報から、ASM 作動時の回数、手術時の超音波操作行程の分類、超音波操作の原因の分類、画像判別による ASM シチュエーションの分類に分けて検証します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 <ul style="list-style-type: none">診療録情報（年齢・性別・核硬度・術前術後視力）手術時の超音波操作工程の分類（プレフェイコ・溝掘り・第2分割後1/4核US時・残余1/2核フェイコチップ時・残余1/4核US時）超音波操作原因の分類 (USチップの突き抜け・USチップの外れ・原因不明、平均CDE値（累積使用エネルギー値）)画像判別による ASM シチュエーションの分類（工程別・原因別）
5. 外部への試料・情報の提供 本研究で取得した診療情報は個人情報管理責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報

等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は寒川ごとう眼科の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存され、寒川ごとう眼科にて解析に使用します。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定し、共同研究機関である寒川ごとう眼科にて保管および使用します。昭和大学へのデータはUSBにて、直接、研究代表者へ渡され、データやり取り後のUSBは寒川ごとう眼科へ返却されます。

6. 研究組織

研究代表者	研究機関名	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	氏名	西村 栄一
研究責任者	研究機関名	寒川ごとう眼科	氏名	後藤 洋平

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	氏名：西村 栄一
住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1	電話番号：045-978-6100